

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	09 02 04	中期総合計画主要施策番号	2-04,5-06,5-09	担当課	部・課	林務部信州の木振興課	
事業名	公共林道事業(公共【林道】)				内線	3247	
					E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	S29 ~	根拠法令等	森林・林業基本法第12条、森林法第5条				
実施方法	市町村へ補助金を交付し実施、県が直接実施					国庫・県単	補助公共

事業の概要等	目的 (必要性)	林道の整備(開設・改良・舗装)を実施し林業の振興を図るとともに、森林整備や山間地域の居住環境整備を促進させることにより、地球温暖化対策や国土保全を含めた森林の持つ公益的機能を高度に発揮させる。				
	対象	林道の使用者及び地元住民				
	目指すべき姿	林道を整備することで、林業の振興を図り、森林の整備を促進すると共に山村地域の居住環境を整備する。 (H32年度までの森林づくり指針における目標値:4,973km)				
	事業内容	・林道開設 (補助率:【国】45%又は50%,【県】1%~5%,【市町村等】49%~50%) ・林道改良、舗装 (補助率:【国】30%~50%,【県】1%,【市町村】49%~69%)				

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 (H24への繰越額:548,069千円)
	最終予算額 (A)		千円	2,122,252	1,524,560	1,058,447	
	決 算 額 (B)		千円	1,612,194	976,491		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	50,639	52,922	56,648	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	22.80	21.10	21.50	
		概算人件費 (C)	千円	189,628	174,244	177,547	
	概算事業費 (B(H24はA)+C)		千円	1,801,822	1,150,735	1,235,994	

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 「H23完了箇所:23路線」 (内訳)開設4路線,改良18路線,舗装1路線 整備済延長累計の括弧書きは年間整備延長 (効率指標算出式) 概算事業費 / 年間整備延長
	林道開設延長累計(年間整備延長)(活)	km	4,873(2)	4,881(7)	4,886(5)	
	補助林道実施箇所数(活)	箇所	38	39	44	
	森林整備促進面積(成)	ha	468	272	274	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 林道新規開設1Kmあたり事業費	千円 / Km	900,911	164,331	247,199	

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価				評価区分
	林道を整備することで、林業の振興を図り、森林の整備を促進すると共に山村地域の居住環境を整備するため、平成32年度までの林道開設延長目標値4,973kmに対し、平成23年度は4,892kmの整備を目標とする。	平成23年度末の実績累計延長は4,881km(99.8%)となり、目標達成に向けて順調に進んでいる。				b 期待どおり

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 ・森林整備の推進、国産材の有効活用等への期待は依然として大きいことから、事業のニーズは横ばいと判断される。 ・「長野県営林道事業施行に関する規則」により、市町村からの申し出を受け県営開設を行っており、県関与について当面見直しの余地はない。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	・計画規模が大きく、事業期間が長期にわたる路線については、全体計画の見直し等を考慮しながら早期完成を目指す必要がある。 ・木材の搬出を主とする林道においては、地形に追従した林業専用道の開設を進める必要がある。 ・開設単価の縮減のため構造物設置に際し、比較検討の上導入する必要がある。				
	特記事項					